



NHS 共同購買体制の進捗地図 (イングランド地域)



草分け・先駆者

1. West Midlands South – (Healthcare Purchasing Consortium)
2. Shropshire & Staffordshire (LifeSource CPH)
3. Greater Manchester CPH



準備完了、現在実施段階

4. South Central (Thames Valley and Hants & IOW)
5. North Central London
6. East Midlands *re:source* (Trent and Leicestershire, Northamptonshire & Rutland)



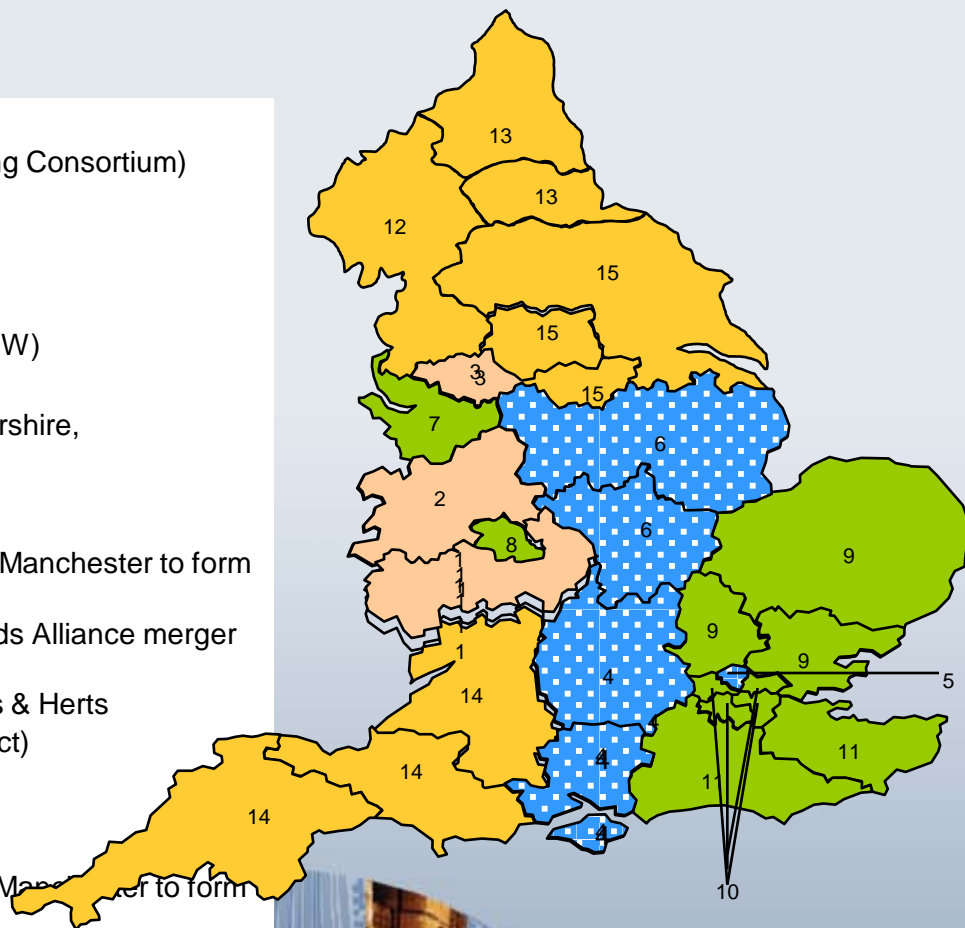
準備完了、2006/07年に移行、実施

7. Cheshire & Merseyside (merger with Greater Manchester to form North West Hub)
8. Birmingham and Black Country (West Midlands Alliance merger with HPC)
9. Norfolk, Suffolk, Cambridgeshire, Essex, Beds & Herts
10. London (phase 1 London Procurement Project)
11. Surrey & Sussex and Kent & Medway



移行準備中

12. Cumbria & Lancashire (merger with Greater Manchester to form North West Hub)
13. North East
14. South West
15. Yorkshire & Humber



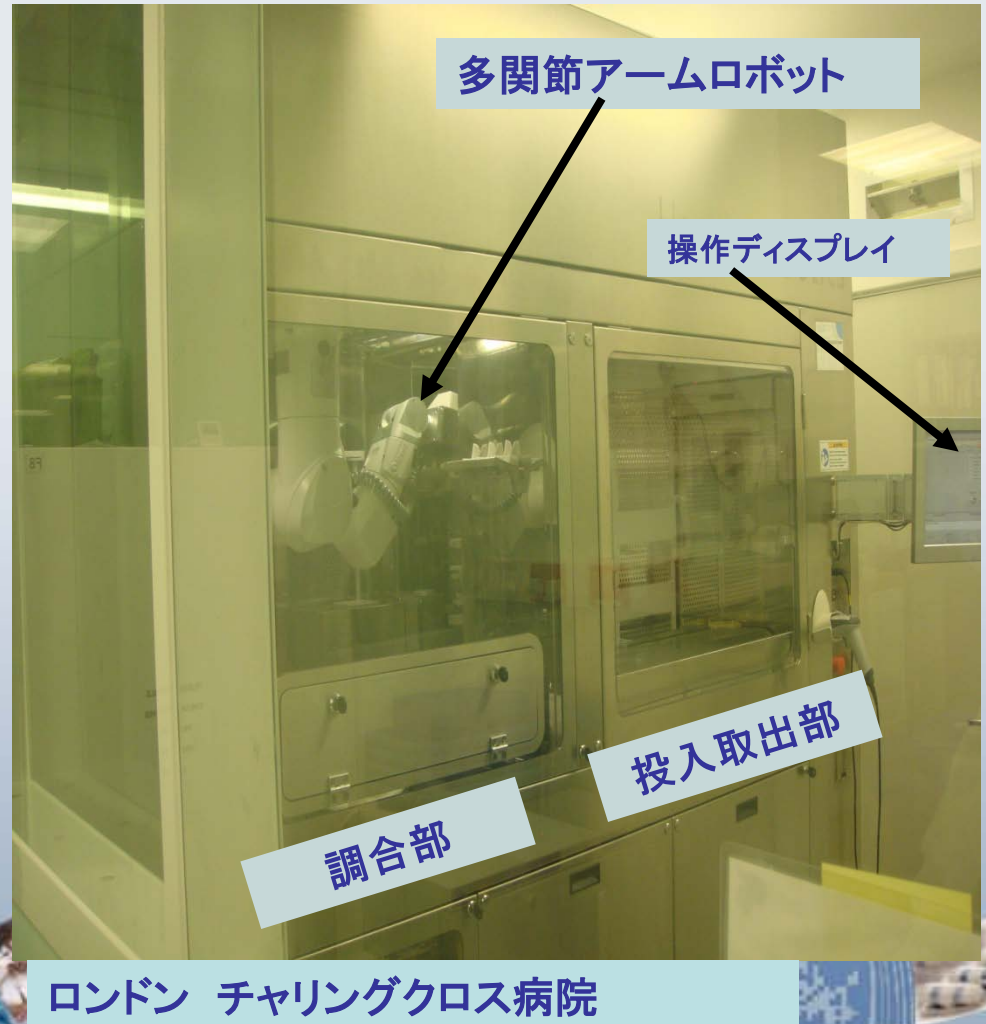


NHSによる「機械化・自動化」の推進(1)

例 抗がん剤のロボット調合システムの導入推進

- ・革新的である。多関節アームロボット
- ・ヒトができることはヒトに、機械ができることは機械に
- ・スタッフの作業の負荷の削減
- ・抗がん剤取り扱い上、人体への被爆が無いというメリット
- ・一日24時間、週7日間稼動
- ・正確な調合業務
- ・ヒトは薬剤を投入・補充し取り出す
- ・輸液バック、注射剤等にトレーサビリティ管理のために「シリアル番号バーコードラベル」を貼付し、データの正確な収集とデータ保存が実現

●チャリングクロス病院が導入第1号





抗がん剤のロボット調合システム

多関節アームロボット

2室に分離し被爆防止の遮蔽壁がある



抗がん剤、シリンジ、輸液バック等の投入取り出し作業



トレーサビリティ管理のためのシリアル番号ラベル(院内マーキング)





NHSによる「機械化・自動化」の推進(2)

例 鋼製器具の2次元データマトリックス刻印によるトレーサビリティ・資産管理の導入推進

- ・クロイツフェルト病等 感染防止
- ・厚生省が感染防止ガイドラインを発行
- ・「鋼製器具の感染リスクが将来に存在する
なら、我々はリスク回避のために今、器材の
トレーサビリティをデータマトリックスで実現
する」

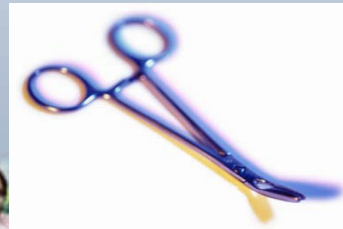
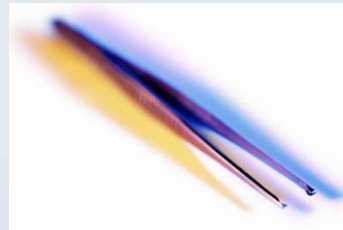
……ローヤルフリー病院

- ・器材にシリアル番号を刻印
- ・レーザー刻印マーキングは外部委託。

●器材レーザーマーキングは約30病院で導入され
トレーサビリティ管理システムが稼働

(Meditrax社ヒアリング)

●刻印だけでなくトレーサビリティ、データを裏付け
るシステムの稼働があることに留意必要。



データマトリックス



ロンドン ローヤルフリー病院中央材料部